

E-SX90系, E-GX90系, E-JZX90系  
E-JZX91系, E-JZX93系, Y-LX90系 (マークII・チェイサー・クレスト)

P, A, V店

標 題 トヨタ マークII, チェイサー, クレストの定期点検についてのお知らせ



トヨタ マークII, チェイサー, クレストの型式追加に伴い, 定期点検に関する点検項目と整備基準値をお知らせします。

なお, 本整備編に記載されていない項目については下記資料を参照してください。

整備関係資料

資 料 名	品 番	発 行 年 月
トヨタ新車点検作業要領説明書 (乗用車編)	66477	1991年2月
トヨタ定期点検作業要領説明書	68550	1983年7月
技術連絡書修理編 新定期点検整備方式について	総括4032	1984年12月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 上巻	62140	1992年10月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 下巻	62144	1992年10月
トヨタ マークII・チェイサー・クレスト修理書 / 追補版	62150	1993年10月

## 目 次

	ページ
1. 各部油脂・冷却水と容量	2
2. 定期点検整備基準値	4
3. 定期点検作業要領	7

1. 各部油脂・冷却水と容量

項 目		容 量 (L) [参考値]		指 定 油 脂	
		オイルのみ 交 換 時 充 て ん 量	オイルとオイル フィルタ-交換時 充 て ん 量		
エンジンオイル	4S-FE	3.1	3.3	キャッスル・クリーンシンサート (SG)	
	1G-FE	4.1	4.3	キャッスル・クリーン SG (SG)	
	1JZ -GE	2WD	5.1	5.4	キャッスル・クリーンターボ (SF)
		4WD	4.2	4.5	キャッスル・クリーンエクセレント (SF)
	1JZ-GTE	5.1	5.4	キャッスル・クリーン SF フリート (SF)	
	2JZ-GE	5.1	5.4	キャッスル・クリーンロイヤルII (SE)	
	2L-TE	4.3	5.3	キャッスル・クリーン SE フリート (SE)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換時の充てん量は、ドレーンプラグからオイルを抜いたときの値です。</li> <li>・古いオイルが十分に抜けたことを確認してから、ドレーンプラグを閉めてください。</li> <li>・オイルレベルゲージで、オイル量の最終確認を必ず行ってください。</li> </ul> 確認方法…エンジンを暖機してから停止状態で5分間放置後、オイル量がゲージの F レベルにあることを確認してください。					

項 目		容 量 (L) [参考値]		指 定 油 脂	
冷 却 水	4S-FE	6.8		トヨタ純正ロングライフクーラント [凍結保証温度 濃度 30%.....-12℃] 濃度 50%.....-35℃]	
	1G-FE	6.5			
	1JZ -GE	2WD	6.9		
		4WD	6.9		
	1JZ-GTE	8.4			
	2JZ-GE	7.4			
	2L-TE	9.0			
エンジンファンフルード	1JZ-GTE	0.9	キャッスル・パワーステアリングフルード		
マニュアル トランスミッション オイル	W55	2.6	キャッスル・MG ギヤオイルスペシャルII (75W-90)		
	W57	2.6			
	R154	3.0			
オートマチック トランスミッション フルード	A42D	6.1	キャッスル・オートフルード D-II		
	A42DE	6.1			

項 目		容 量(L) [参考値]	指 定 油 脂	
オートマチック トランスミッション フルード	A43D	6.3	キャッスル・オートフルード D-II	
	A340E	6.8		
	A341E	7.2		
	A340H + UF1AE	9.3	キャッスル・オートフルードタイプ T-II	
ディファレンシャル オイル	フロント	0.7	キャッスル・ハイポイドギヤオイル SX	
	リ ヤ	1JZ-GTE, 2JZ-GE: 1.2 (リングギヤ 8インチ)	キャッスル・ハイポイドギヤオイル SX (LSD なし車, トルセン LSD 付き車)	
		上記エンジン以外: 1.0 (リングギヤ 7.5インチ)	キャッスル・ハイポイドギヤオイル LSD (トルセン LSD 以外の LSD 付き車)	
パワーステアリング フルード	4S-FE	0.7	キャッスル・パワーステアリングフルード	
	1G-FE	0.7		
	1JZ -GE	2WD		0.9
		4WD		0.9
	1JZ-GTE	0.9		
	2JZ-GE	0.9		
	2L-TE	0.8		
クラッチフルード		—	トヨタブレーキフルード 2500H	
ブレーキフルード		—	トヨタブレーキフルード 2500H	
エアコンコンプレッサーオイル		—	ND-OIL 8 [新冷媒 HFC-134a (R134a) の ピストンタイプコンプレッサー用]	

## 2. 定期点検整備基準値

## エンジン関係

エンジン型式		4S-FE	1G-FE	1JZ-GE	1JZ-GTE	2JZ-GE	2L-TE
Vリブドベルト たわみ量 [押力10kg] (mm) ( )内は張力(kg)	オルタネーターベルト	13~17 (13~37)	14~20 (25~40)	インジェクターにて点検 (無調整)			10~14 (20~35)
	A/C ベルト	9~11 (45~55)	9~11 (25~40)				17~21 (20~35)
	P/S ベルト	9~14 (20~35)	7~9 (20~35)				10~15 (20~35)
バッテリー液比重 [液温20°C]		1.250~1.270	←	←	←	←	1.270~1.290
点火時期 (°BTDC/rpm)	T端子短絡	M/T	10±2/650	10±2/700	←	←	←
		A/T	10±2/700				
	T端子開放	M/T	10~20/650	12以上/700	5以上/700	8以上/700	5以上/700
		A/T	10~20/700				
噴射時期[TDC静止] プランジャーリフト量 (mm)		—	—	—	—	—	刻印合わせ
噴射圧力 (kg/cm <sup>2</sup> )		—	—	—	—	—	145~155
アイドル回転数 (rpm)	M/T	650±50	700±50	←	←	←	←
	A/T	700±50					
アイドルCO濃度 (%)		1.0以下	←	←	←	←	—
アイドルHC濃度 (ppm)		800以下	←	←	←	←	—
ディーゼルスモーク濃度 (%)		—	—	—	—	—	50以下
アイドルバキューム (-mm/Hg)		450以上	430以上	500以上	470以上	500以上	—
バルブクリアランス [冷間時] (mm)	I N	0.24±0.05	0.20±0.05	←	←	←	0.25±0.05
	E X	0.33±0.05	0.30±0.05	←	←	←	0.45±0.05
シリンダーヘッド締め付けトルク (kg·cm)		※1	650	※1	←	←	←
マニホールド 締め付けトルク (kg·cm)	I N	195	180	※2	←	←	240
	E X	500	260	※2	←	←	530
圧縮圧力 [250 rpm 時] (kg/cm <sup>2</sup> )	基準値	12.5	13.0	←	12.5	13.0	31.0
	限度	10.0	←	11.0	9.0	11.0	20.0
	気筒差	1.0以下	←	←	←	←	5.0以下
スパークプラグギャップ (mm)	基準値	1.0~1.1	←	※3	←	←	—
	限度	1.3	←				
ラジエーターキャップ開弁圧 (kg/cm <sup>2</sup> )	基準値	0.75~1.05	←	←	←	←	←
	限度	0.60	←	←	←	←	←

※1. 塑性域締め付けのため点検不要

※2. メタルガスケット使用のため点検不要

※3. 白金プラグ使用のため点検、調整不要

## シャシー関係(1/2)

項 目		車両型式	SX90 GX90	JZX90 JZX91	JZX93	LX90
ステアリングホイールの遊び [ステアリングホイール外周にて] (mm) [油圧作動時]			0~30	←	←	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ [1mにつき] (mm)		0~3	←	←	←
	トーイン点検基準値 (mm)		1 ± 2	←	0 ± 2	1 ± 2
	キャンバー点検基準値 (度)		0°05' ± 45'	-0°05' ± 45' -0°15' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	-0°15' ± 45'	0°05' ± 45'
	キャスター点検基準値 (度)		5°45' ± 45'	5°45' ± 45' 6°00' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	4°10' ± 45'	5°45' ± 45'
	キングピンアングル 点検基準値(参考値) (度)		8°45' ± 45'	9°00' ± 45' 9°10' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	8°45' ± 45'	←
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 (mm)		2 ± 2	←	←	←
	キャンバー点検基準値 (度)		-0°25' ± 45'	-0°25' ± 45' -0°40' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V)	-0°10' ± 45'	-0°25' ± 45'
フロントホイール 左右回転角度	内 側 (度)		40°45' +1° -2°	←	39°35' +1° -2°	40°45' +1° -2°
	外 側 (参考値) (度)		34°25'	34°10' 34°00' (ツアラ- S, ツアラ- V)	32°35'	34°25'
ブレーキペダル (mm)	高 さ [アスファルトシート 上面より]		157	←	←	←
	遊 び [負圧なしの状態]		1~6	←	←	←
	踏み残りしろ [踏力 50 kg] [エンジンONの状態]		85以上	←	←	←
パーキング ブレーキ 【 】はペダル式	レバー引きしろ (ノッチ数) [操作力20kg][操作力30kg]		5~8 【5~7】	←	←	←
	ドラムの内径 (mm)	基準値	176.0	←	←	←
		限 度	177.0	←	←	←
	ライニングの 厚さ (mm)	基準値	2.0	←	←	←
		限 度	1.0	←	←	←
	ブレーキの 効 き 具 合	制動力	検査時車両重量の20%以上			
操作力		50 kg 以下【90 kg 以下】				

シャシー関係(2/2)

項 目		車両型式		SX90 GX90	JZX90 JZX91	JZX93	LX90
		前 輪	後 輪	基 準 値	限 度	←	←
ディスクブレーキ パッドの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	12.0	11.0	←	12.0	
		限 度	1.0	←	←	←	
	後 輪	基 準 値	12.0	←	←	←	
		限 度	1.0	←	←	←	
ディスクブレーキ ローターの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	22.0	25.0 32.0 (ツアラーV)	25.0	22.0	
		限 度	20.0	23.0 30.0 (ツアラーV)	23.0	20.0	
	後 輪	基 準 値	10.0	10.0 16.0 (ツアラーV)	10.0	←	
		限 度	9.0	9.0 15.0 (ツアラーV)	9.0	←	
ディスクの振れ限度 [外周より10mm内側] (mm)	前 輪	0.05	←	←	←		
	後 輪	0.07	←	←	←		
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪が ロックし、計測困難な場合 は、その状態で総和に対し て適合するものとみなす。	制 動 力	後 輪 和	軸重の20%以上				
		各輪左右差	軸重の8%以下				
		総 和	検査時車両重量の50%以上				
クラッチペダル (mm)	高 さ [ダッシュフロア上面より]	158±5	←	—	158±5		
	遊 び [ペダル上にて]	5~15	←	—	5~15		
	切れ残りストローク	25以上	←	—	25以上		
プロペラシャフトの振れ (mm)	0.8以下	0.8以下 1.8以下 (コンポジット)	0.8以下	←			
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 (mm)	前 輪	0.05以下	←	←	←		
	後 輪	0.05以下	←	←	←		
ホイールナットの締め付けトルク (kg·cm)	1050	←	←	←			
タイヤ残り溝 (mm)	1.6まで	←	←	←			
タイヤ空気圧	次ページ参照						

タイヤ空気圧 [一般と高速とも同じ] (kg/cm<sup>2</sup>)

タイヤサイズ	前輪	後輪
185 / 70 R14 88S	1.9 2.1 (LX90)	1.9 2.1 (LX90)
195 / 70 R14 91S	1.7 1.9 (LX90)	1.7 1.9 (LX90)
195 / 65 R15 91H	2.0	2.0
205 / 60 R15 91H	2.0	2.0
205 / 55 R16 89V	2.3	2.3
225 / 50 R16 92V	—	2.5

### 3. 定期点検作業要領

#### 1. 減速時排気ガス減少装置の機能

4S-FE, 1JZ-GE

エンジン暖機後、インジェクターに指をあててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

1G-FE, 1JZ-GTE, 2JZ-GE

エンジン暖機後、ダッシュポットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転を 3500 rpm 以上まで上げ、スロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

#### 2. 排気ガス再循環装置の機能

2L-TE

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態で EGRバルブのバキュームホースに負圧がかかってないことを確認する。
- (2) エンジン回転を約 1500 rpm に上げたとき、EGRバルブのバキュームホースに負圧がかかることを確認する。
- (3) 水温 60°C 以下の状態で (2) のように回転を上げたとき、EGRバルブのバキュームホースに負圧がかからないことを確認する。

なお、バキュームホースにかかる負圧の確認は EGRバルブ側のバキュームホースの部分にバキュームゲージを取り付けて行う。